

「あいりんシェルター利用者に対する新型コロナワクチン接種聴き取り調査のご報告」

住む家がある方も、無い方も、命の重みは一緒です。

その尊い命を守るために、ワクチン接種の機会は公平でなければいけません。

しかしながらこの施設には様々な理由で、行政から、住民票住所に送られてくる接種券の受け取りが困難で、通常のシステムにおいては、希望してもワクチン接種ができない方が多くいらっしゃいます。

ホームレス状態の方を支援する NPO 法人として、そんな境遇にある一人でも多くの方に、この聴き取り調査を通じてワクチン接種の機会の確保をいただきたい、またワクチン接種率の向上により、地域の感染拡大防止に寄与するという社会的役割を担うべく、あいりんシェルターの利用者で、国が定める新型コロナウイルスワクチン接種の高齢者優先枠に該当する年齢の方を対象に、聴き取り調査を実施しました。

以下に調査の結果をご報告申し上げます。

【聴き取り対象人数と聴き取り総数】

対象者の総数：111名（令和4年3月31日までに65歳を迎える方）

聴き取り実施者数：108名

※ ほとんどの方に聴き取り調査のご協力をいただきました。

【聴き取りの主な内容】

- ・ワクチン接種の希望の有無
- ・ワクチン接種券の受け取りの可否
- ・ワクチン接種券の行政に対する発行手続きの受任手続き

（大阪市は、住民票の所在地がわからない・住民票の所在地で接種券を受け取れない方には、相談の上必要があれば大阪市による再発行を行う方針で、ご希望の方にできるだけ多く接種いただける態勢で臨むと聞いています。あいりんシェルターでは、施設長に再発行手続きを希望者が委任する形をとることで、簡便かつ迅速に接種券の入手が可能となりました。）

【接種希望の有無】

有：96名

無：12名

※希望有の方では、ご自身の為という回答はもとより、施設で集団生活を伴にしている仲間に迷惑をかけたくない等の声が上がりました。

また希望されないという方では、副作用が心配、そもそも注射がきらい、日本製のワクチンができればその時に打つ、などの声が上がっていました。

【接種券発行の要否（要の方は発行手続きの受任を取りました）】

要：58名 否：50名

※否の主な理由と数・・・自分で接種券を受け取れる住所がある：38名

接種を希望しない：12名

【聴き取り総数に対するあいりんシェルターが住民票所在地の方の人数】

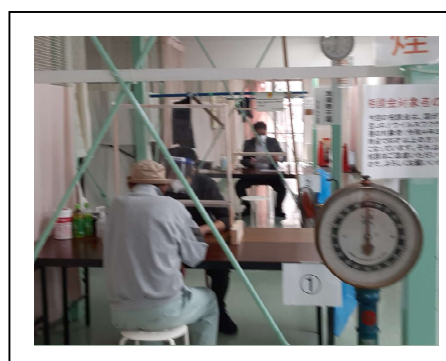
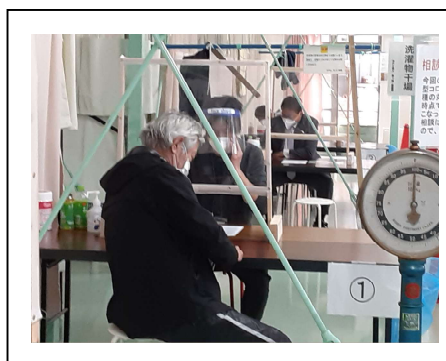
26名 ※（聴き取り時23名、後に接種券が届いて判明した方が3名）

【接種希望者の内、接種方法の希望】

あいりんシェルターの利用者と集団接種を希望：92名

その他指定医療機関で接種を希望：4名

【聴き取りの様子】



【今後について】

今回はあいりんシェルターの利用者でかつワクチン接種の高齢者優先枠に当てはまる方のみの聴き取り調査を実施しましたが、今後はワクチン接種を希望するが、接種券を受け取れないなどの地域の多くの方の課題を解決するために、聴き取り調査の裾野を広げていけたらと考えています。

その実施に向けて皆様のご理解・ご協力をいただきましたら幸いです。

以上